

## 週報

## こひつじ

第40巻 15号  
 大津キリスト教会  
 菊池郡大津町室 119  
 TEL 096-293-4470  
 FAX 096-293-4961  
 牧師 米村 英二

## 向きを変えて、出発せよ

## その二 私の出発

私の人生にも出発があった。  
 最初の出発は、むろんクリスマス帰ると、カナダから来た婦人宣教師になったときである。それは師と出会った。何と新鮮な、驚くべき出発であつたらうか。

私がクリスチャンになったのは高校二年生の時だった。家が貧しかったので、とても上の学校にはやってもえなれないと思つて、当時の入るのが難しいと言われていた国立の電波高校を受験した。運よくそれに受かった。私は喜んだ。ところが入つてわかつたのは、電気勉強がきらいだということだった。

将来が真つ暗になった。

そんなとき、夏休みに、実家に帰ると、カナダから来た婦人宣教師と出会った。その宣教師と話して、不思議な気持ちになった。彼女は、私を、学歴や地位、能力といったものさしで測らないで、ひとりの人間として見てくれた。話していて私にそれが瞬時にわかつた。そして自分の卑屈な心に比べて、なんと広やかで、自由で、のびのびとした心だろう。私は新鮮な感動を覚えた。

それでもまだ、私の心は揺れていた。この世の価値観に未練があつたのだ。そんな私を知つて、宣

教師は私にたずねた。冷蔵庫と鉛筆はどちらが値段が高いかと。むろん冷蔵庫だと私が答えると、彼女は言った。  
 「米村さん、値段は安くても、鉛筆には鉛筆にしかできない仕事があるのですよ」

その言葉は私の心を打った。「そうだ、ぼくも鉛筆になろう。値段が安くてもいいじゃないか。小さくてもいいじゃないか。しかし自分にしか生きられない人生を生きよう」

人をうらやむ必要などないのだ。働き始めて三年後、私はとうとう私の人生を生きればよい。社会をやめた。これこそが私だけの、私自身の人生ではないか。

私はそのとき、「身を立て 名をあげ やよ励めよ」の「立身出世」の人生観を捨てた。そのレールから降りた。壁には、次の聖書の言葉を掲げて、自分を奮い立たせた。

「上にあるものを求めなさい。地上のものに心をひかれてはならない」

その後、大阪のシャープ電機に就職した。ところが、宣教師は、一年もた

そしてあるとき、独身寮の屋上に立っていた。そこから見下ろすと、隣の敷地には社宅が立ち並んでいた。それを眺めながら思った。

このままここにいれば、確実に一〇年後には、この寮からあの社宅に移っているに違いない。多少、収入は増えているだろう。生活も安定しているかもしれない。しかしそれだけのことだ。それならなぜ自分の人生をこのキリストにかけてみないのかと。

その願いは日増しに強くなり、働き始めて三年後、私はとうとう会社をやめた。

以上が最初の出発だ。それから数年後、私は結婚した。すると九州熊本の阿蘇のふもとにある、当時人口一万六千人ほどの大津という町で伝道するアメリカ人宣教師から通訳の依頼があつた。私たちは一年の約束で出かけた。

田舎の伝道の難しさを知っていた私は、そこに長くいるつもりはなかつた。

ところが、宣教師は、一年もた

つてくれと言ひ残して、アメリカを見るのはよそう。夢を見るのはよそう。そして自分に与えられた

私に途方にくれた。こんな保守この場所で、中高生の伝道に力を注ごうと。

懐疑的だった。実際に、やって来た。これが第二の出発だった。(統)

そこで私は熊本市のほうに目を向けた。その郊外に新しい団地が

できていたからだ。毎週、そこにチラシを配りに行

った。しかしむだだった。当時、車を

持つ人は少なく、すべての交通機

関は熊本に向かい、反対の方向に

ある大津への道は閉ざされていた

のだ。結局大津に舞い戻って来た。

私は性急だったのだ。手っ取り

早く成果をあげようとしていたの

だ。そのとき神は私に言われた。ヨ

シア記の次のことばをもって。私

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、

○教会学校は午前10時から。

先週の礼拝

○司会は宮元隆博さん、奏楽

は吉岡裕美さん。説教はヨナタンの勇気に

ついて。ヨナタンは言いました。

「大人数によるのであつても、

小人数によるのであつても、主

がお救いになるのに妨げとな

先週の出席

○第一礼拝が四四名、第二が四

五名、合計八九名(男三〇、女五

九)。それに子どもが六名、合

せて九五名でした。

米村牧師の日程

「あの人インタビュー」は合志

千恵さん。「編集室から」は林田

るかさん。受付にあります。

『こひつじ Jr』二五号

午後には新幹線で帰途につきま

す。大阪府八尾市の道本純行牧師

の教会で礼拝の奉仕をしています。

の奉仕を終え、今朝(四月二日)

の三日間(四月一日〜二〇日)

米村牧師は、奈良県生駒市にあ

る関西聖書学院(KBI)にお

ける人生の戦いにおいても同様

で、人数の多いか少ないかは問